広報 NO16　（2026年７月1日発行）　～ともに　紡ぎあい　育ちあう～

わかば

社会福祉法人わかば会
盛岡市西松園３丁目19－６
発行責任者　鈴木　禮子
☎：０１９－６６１－３１０３
fax: ０１９－６６２－５１２１
https//www.wakaba-kai.or.jp

法人運営施設
・わかば保育園
・北松園風の子保育園
・本宮保育園
・うえだ保育園
・宇宙学童クラブ

うえだ保育園　田植え

少子化が政府の推定より17年も早く進み、国をあげて少子化対策が叫ばれています。昨年の出生数は68万人を割り、合計特殊出生率も1・14に低下しました。

ところが、東京都は９年ぶりに出生数が増加に転じたとの報道です。主な要因は子育て世代への経済的負担を減らす施策を充実し、保育料は２０２５年９月から０～２歳児は第１子から無料です（保育料は全て無料）。

国は、ようやく重い腰を上げて今年度から小学校の給食費を無料に、高校授業料が公私立を問わず無償にしました。長年の保護者、関係者の運動が功を奏した結果であり歓迎したいと思います。

振り返って保育園はどうでしょうか。給食費は０～２歳児は無料ですが、３～５歳児は一ヵ月４８００円の実費負担に加え、主食代５００円（わかば会の例）が保護者負担です。

また、保育料は３～５歳児は無料ですが、０～２歳児は有料です。但し、盛岡市は２０２５年度から第２子以降（所得制限なし）無料になりました。

今日、０～２歳児の保育園への就園が６割を超え、未満児保育が保護者の就労を支え、子どもの発達を保障する「要（かなめ）」の施設となっています。また、給食は保育の一環として位置付けられています。少子化対策を言うのであれば、早急に未満児の第１子保育料及び３歳児以上の給食費は無償にすべきです。

会福祉法人わかば会
理事長　鈴木禮子

法人研修

法人「わかば会」は、職員の研修を重視しています。

専門的な知識や技能を習得することはもちろんですが、専門の講師を招き職員の資質向上や職業人として仕事に生きがいを感じ、働き甲斐のある職場環境をめざし研修を行っています。

◎２０２５年１月17日
渡部容子弁護士を迎え、職員全員対象に「ハラスメントの被害者・加害者にならないために」をテーマに学習しました。

また、今年度は中堅職員を対象に、

◎５月26日、岩手産業保健総合支援センターメンタルヘルス対策促進員山田恵子氏による「保育現場のメンタルヘルスについて」を学習しました。

◎６月２日、岩手県中小企業団体中央会専務理事瀬川浩昭氏による「マネジメント対策について」学びました。

職員からは、メンタルヘルスの重要性は理解していたが、保育体制の課題や保護者支援など難しい課題も抱えており、働きやすい職場の環境作りが大切と思った。

マネジメントについては、日常的に学ぶ機会がなかったため、中堅職員としての自覚が拡がった。何かあった時に組織的に動けるよう日々の連携の大切さを学んだなど感想が寄せられました。

研修風景（うえだ保育園ホール）

各施設入園児数＆職員数

施設名	入所児童数（名）	職員数（人）
わかば保育園	６３	正規　12 パート 13 再雇用　1
風の子保育園	５８	正規　11 パート　8 再雇用　1
本宮保育園	１２７	正規　19 臨時　5 パート 16
うえだ保育園	１０７	正規　14 臨時　3 パート 16
宇宙学童クラブ	３９	正規　2 臨時　1 パート　2
本部事務局		正規　2 臨時　1 パート　1

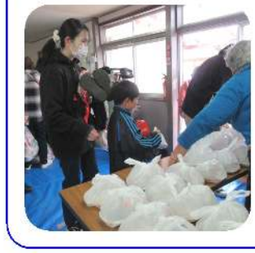
園児募集

産休明けからの０才児保育支援児保育、延長保育を行っています。

2025年度　年間1,191人利用 おひさまキッチンの活動

2025年度のおひさまキッチン利用者は、子ども453人、高齢者など大人738人（うち子どもと一緒に参加した子育て世帯215人）合計1,191人です。この間、子どもたちには手作り弁当の配布と一般利用者にはフードパントリー（食料支援）を実施。昨年は、お米が高騰し店舗にお米がなくなる事態になりましたが、農水省の備蓄米（780kg）を調達し、毎月欠かさず1世帯2kgのお米を配布しました。

今年度は開設9年目になります。スタート当初は市内で７施設だった子ども食堂が、47か所まで拡がり、安全安心の子どもの居場所として献身的な活動が展開されています。「わかば会」は、地域貢献事業の一環として開設以来支援援を行っています。



あとがき

スイカ割りのご馳走（風の子保）

市内のあちこちにクマが出没し、日常の保育に支障をきたしています。

「わかば会」の保育（学童保育も含む）は、お散歩をはじめ登山やキャンプなど自然を満喫しタケノコ、わらび、クリ、クルミなど散歩中に見つけた自然の恵みをいただきながら四季を通した保育が営まれています。

クマ騒動でわかばの保育の基本が揺らぎ、先生たちは保育の組み立てに苦労しています。

ズーモの辻本園長さんのお話では、クマ出没の要因の一つに高齢化や離農などで放棄地が拡がり里山とクマの生息域の境界がなくなったことをあげました。

ヒトと動物が共生できる環境づくりが大事だと受け止めました。それにしても日々の保育がクマ情報抜きに進まないことを何とかできないものでしょうか・・

（礼）

「ともに 紡ぎあい 育ちあう」わかばの保育の担い手に

辞令交付式

宣誓を行う新入職員

新入職員・前列理事長を真中に両脇６名

新施設長紹介

宇宙学童クラブ施設長
菅原ユカリ

この間、主任指導員として子どもたちが放課後を安心して過ごせる場所にとスタッフ共々頑張ってきました。今年度から名実ともに独立した施設としてスタートする要となる施設長に就任しました。

６名の新入職員を迎えました

新入職員、昇任された職員のみなさんおめでとうございます。2026年度も早いもので３か月が過ぎました。

今年度は昇任された職員２名。新入職員８名(正職員２名、臨時職員６名）を「わかば会」の職員として迎えることができました。先輩職員は新人職員の期待に応えられるように、昇任された職員は職場の要として力を発揮していただきたいと思います。

法人の2026年度事業計画の一つに「安心して働き続けられ働き甲斐のある職場環境づくり」が掲げられました。それぞれが働き甲斐のある職場とは？　と多いに話し合い確かなものにつなげる一年にしたいと思います。

保護者との連携がすごい！

「わかば会」創立40周年記念誌に保護者会活動について次のように紹介しています。「保育者にとって、保護者は子どもの親であると同時に子どもを育てる仲間、子育てしながら成長する同志です」としています。

なるほど、園と共同で開催されるわかば保育園、風の子保育園の「大バザー」をはじめ、保護者会主催の「わかばのビアガーデン」、本宮保育園の「夏まつり会」などなど。わかば保育園の保護者会には「オヤジの会」という自主的な組織まであります。

また、園庭整備や畑づくりなど外回りの作業やカ仕事など種々のお手伝いをいただいています。

「保育は保護者と一緒に創るもの」とした実践はすごい！なァと心強い限りです（感謝）。

（写真わかば会HPより抜粋）

理事会の動き

＊**186回理事会**（2025・12・5）
- ○物価高騰対策手当金の支給について
- ○2025年度12月補正予算
- ○法人わかば会「中・長期計画」の見直し

＊**187回理事会**（2026・3･30）
- ○給与規定の改定について
- ○施設長の選任
- ○2025年度3月補正予算
- ○2026年度事事業計画当及び当初予算
- ○2026年度の職員賞与の支給

＊**188回理事会**（2025・6・15）
- ○2025年度事業報告
- ○2025年度決算の承認
- ○定款の変更
- ○経理規程の一部改正について
- ○理事の選任候補者の推薦
- ○2026年度定時評議員会の招集について

＊**定時評議員会**（2026・６・30）
- ○2025年度決算の承認など

＊**2026年度の新規事業**
- ○「中・長期計画」を職員と共有し実践する
- ○若年職員の給与の見直し改定
- ○働きかた改革の一環として本宮保育園の休日保育の廃止と20時までの延長保育を19時までに短縮する
- ○宇宙学童保育クラブの体制強化
- ○社会保険労務士の任用
- ○各園のＩＣＴ化の促進

財務報告

法人資金収支計算書
（自）令和7年４月1日（至）令和8年３月31日

(単位　円)

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入	保育事業収入	602,155,000	633,134,059	△ 30,979,059
		経常経費寄附金収入	165,000	210,566	△ 45,566
		受取利息配当金収入	439,000	436,225	2,775
		その他の収入	11,376,000	11,173,801	202,199
		事業活動収入計(1)	614,135,000	644,954,651	△ 30,819,651
	支出	人件費支出	482,321,000	484,563,941	△ 2,242,941
		事業費支出	48,719,000	45,927,190	2,791,810
		事務費支出	36,113,000	35,523,841	589,159
		その他の支出	8,435,000	8,219,800	215,200
		事業活動支出計(2)	575,588,000	574,234,772	1,353,228
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		38,547,000	70,719,879	△ 32,172,879
施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計(4)			
	支出	固定資産取得支出	1,176,000	1,173,547	2,453
		施設整備等支出計(5)	1,176,000	1,173,547	2,453
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 1,176,000	△ 1,173,547	△ 2,453
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	45,000	144,095	△ 99,095
		その他の活動収入計(7)	45,000	144,095	△ 99,095
	支出	積立資産支出	44,474,000	63,559,528	△ 19,085,528
		その他の活動支出計(8)	44,474,000	63,559,528	△ 19,085,528
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 44,429,000	△ 63,415,433	18,986,433
予備費支出(10)			0	—	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			△ 7,058,000	6,130,899	△ 13,188,899
前期末支払資金残高(12)			170,990,528	170,990,528	0
当期末支払資金残高(11)+(12)			163,932,528	177,121,427	△ 13,188,899